

新人職員紹介

今年4月～6月までに採用された職員をアンケート方式でご紹介します。

① 最近みた映画、TV、読んだ本など、ハマっていることは何ですか？

② 今の仕事であなたが拘っていききたいと思うことは？



南沢デイルーム
Pさん

① 私が最近ハマっているのは、花や野菜を育てることです。バラ、紫陽花、苺、トマトなどを庭で育てています。金魚と蓮を同じ鉢で育てています。果物の木も植えたいと思っています。

② 私が大切にしているのは、どんなに急いでいる時でも、ご利用者の方の話を聞くことです。ご利用者の方と雑談するのは楽しいです。



南沢デイルーム
Fさん

① 最近はおやつを作って楽しんでます。先日は初めてシナモンロールを作りました。

② 笑顔と丁寧な声かけ、小さな変化に気づくことを心がけています。



南沢デイルーム
Gさん

① 私の趣味は食べ歩きでした。最近年齢のせいかめつくり気力体力が衰え、出かける回数が減りました。その中でラーメンだけは年間150～200杯、現在も食べ歩いています。良く知人に何処のお店が美味しいか聞かれますが、味の好みは個人差があるので一概には答えられません。私の好きなお店には共通点があります。それは店主、店員の気配り、他対応が良いことです。美味しいラーメンがよりいっそう美味しく感じます。私も仕事ではご利用者の方に安心して気持ち良く過ごして頂けるよう意識しています。

② ご利用者の方に良い1日をお過ごし頂きますよう努力したいと思います。



指定居宅介護支援事業所
Nさん

① バラエティーや、Netflixをよく見て、たくさん笑っています。ドラマは朝の連続ドラマ『あんばん』を夫婦で見て楽しんでいます。

② ケアマネという仕事を通して、地域について考える機会が増えました。東久留米に自分が住んでいますので、東久留米の福祉全体が良くなれば…その一端を担う事が出来ればいいな…と思っています。



ゆいまあるはちまん
Bさん

① 最近ハマっていることは、料理ですね。和食・洋食・何でも作りますよ。若いころにアルバイトで、洋食レストランで働いた事もあり、洋食作りが特に好きです。当時の得意料理はハンバーグでした。普段の料理では、なるべく多くの食材を使い、バランス良く作ることを心がけています。感動した映画は『シェーン』若い頃から西部劇が好きでした。最後に確かジョーイ少年がシェーンに向かって、come backと言った言葉が心に響き、シェーンが背を向けて去っていくところは、最高の感動場面で、今でも山を見ると思い出す時があります。

② 福祉の仕事(主に介護職)を始めから、明るく元気をモットーに様々なご利用者の方、そのご家族に自分のケアをいかに喜んでいただけるのかを考えてきました。ケアがうまくいった時は、達成感もありましたが、うまくいかないときは反省も多かったような気がします。私のこだわりは、どのような人にも、明るく元気に接する事です。

ありがとう!

イオンヒーローシートの報告

今年は23,500円分のギフトカードをいただき、衛生消耗品、暑さ対策飲料などを買わせていただきました。ありがとうございました。

総会報告

2025年6月13日
南沢デイルームで
第27回定期総会が行われました。

正会員68名のうち、書面(24名)・

委任状(17名)を含め61名の出席者による議事は、過半数以上の承認を受け、すべて議決されました。出席会員の方からは厳しいご質問やご意見もありましたが、出席した理事・会員からは、「会員の方の声が直接聴けて、よい総会だった」という声が多く寄せられました。

新任理事

岩崎さんからの挨拶

(現ヘルパーステーション管理者)

心と心をつなぐ支援を大切に現場の声や未来のゆいまあるに向けて、皆様と共に考えていきたいと思っています。

退任理事

佐藤さんのご紹介

任期満了により退任された佐藤さんは、理事長交代という大変な時期を、副理事として、そして事務局長として法人を支えてくださいました。「合衆国制」を取り入れた新体制を整える一方で、お得意のDIYで、南沢事業所の職場環境を整えてくださいました。



「ゆいまある」とは
沖縄の方で「助け合い」の意味

25年目の改革



理事長 平塚小百合

みなさま暑中お見舞い申し上げます。いえ、酷暑の候いかがお過ごしでしょうか、と挨拶をするような日々が続いております。これからが夏本番、どうぞ万全の暑さ対策をして日々お過ごしください。

さて、ゆいまあるは25年の節目を経て、この度大きな改革をいたしました。すでにお知らせしてまいりました通り、設立以来の大きな柱の一つであった配食事業を6月30日をもって終了いたしました。小さな民家で始めたゆいまあるは、地域のみならずのお役に立てることを励みに、介護保険事業と共に配食事業にも力を入れてまいりましたが、物価高騰

や社会情勢の変化等の諸事情を鑑み苦渋の決断をせざるを得ませんでした。終了のお知らせをするなかで「ゆいまあるのお弁当は本当においしかった」「何とかやめないでほしい」といったみなさまからの温かいお言葉を頂き、また、職員からも「この仕事が好きだった」「お届け時にみなさまとのやり取りに喜びを感じていた等の率直な声もありました。25年の間に本当に多くのご利用者の方に「愛顧いただき、これまで携わった多くの職員がバトンをつないできた配食事業の重みや無念さを改めて確認いたしました。そういった多くの方々の思いを無駄にしないために、これからのゆいまあるがどのように歩んでいくかが問われているのだと思います。



お弁当のチラシに使われていたイラスト